2020年4月号 VOL.18

港区議会議員

区民相談はお気軽に！

池田たけしNEWS

一人のために、地域のために

KOMEITO 公明党
発行所：〒107-0052 港区赤坂6-7-14-608　TEL&FAX：03-6230-9441
発行日：2020年4月6日　URL：https://ikeda-takeshi.net

活動報告

高輪ゲートウェイ駅

まちづくり・子育て・高齢者等対策特別委員会の委員長として、JR高輪ゲートウェイ駅を委員会視察して参りました。駅名表示は明朝体、床材も木調タイル張り、線路から天井までが吹き抜け、ガラス壁の風の通り道など、機能とデザインが隅々まで造り込まれています。

臨時休校での児童生徒緊急居場所づくり事業

新型コロナウイルス感染防止対策での臨時休校の実施状況について、御成門小、中学校に伺ってまいりました。
現場の先生方のきめ細かな配慮のもと運動や学習、生活指導が行われておりました。

港区立みなと科学館

４月１日、虎ノ門３丁目の気象庁との複合ビルに「港区立みなと科学館」が開設。１階は発見と探求をテーマに楽しく学べる体験型の常設展示コーナーなど。２階には121 席のプラネタリウムが設置されます。

港区立伝統文化交流館

芝浦花柳界の名残、港区指定有形文化財「旧協働会館」が伝統と文化を次世代へつなぐ「港区立伝統文化交流館」に４月１日、生まれ変わります。
昭和11年建築の意匠・細工を残し最新技法でのリノベーションで、舞台を使っての交流と歴史展示が行われます。

議会報告　令和２年第一回港区議会定例会

一般質問　子宮頸がん予防ワクチン接種推進

Q 子宮頸がん予防ワクチン接種のため正しい情報周知を

A 高校１年生に接種の判断のため、国のリーフレットを活用し情報提供を行います。

次世代移動サービスＭａａＳ対策

Q ちぃばす、自転車シェアリングも含めた交通体系を

A 区内公共交通のより一層の利便性向上のために有効と考えられ、積極的な情報収集に努めてまいります。

決算特別委員会

総務費　・事務執行の適正化対応

Q 区役所からの通知のご配送防止策について

A 本年４月から導入する新制度で不適正事務の発生可能性の予防を進め、区の内部統制制度の仕組みを評価・検証します。

環境清掃費　・再生エネルギーについて

Q 二酸化炭素排出量の多い港区の削減対策は

A みなと全国連携エネルギー登録制度で排出が少ない地域電力に切り替え、省エネルギー建築物に助成する制度を創設、ZEB（ｾﾞﾛｴﾈﾙｷﾞｰﾋﾞﾙ）など促進します。

環境清掃費　・食品ロス削減対策

Q 事業者アワード創設や利用者と共のロス削減取り組みの推進を

A フードシェアリングサービスの活用、持ち帰りなど協力店の登録要件を明確化、表彰制度の創設など取組を一層加速させる施策を検討します。

民生費　・医ケア児等の放課後デイサービス事業

Q 事業実施にあたり、その体制や活動内容の工夫、配慮を伺う。

A 本年 12 月より小１から高３までの対象児で、医療職員が学校や主治医と連携、遊びを通じ体をリラックスさせる練習や、自主的な選択経験プログラムを実施いたします。

民生費　・認知症高齢者等に賠償責任保険の付加

Q その活用と周知の取り組みは

A 賠償責任保険付加で、区につながっていない方の支援を期待。オレンジカフェや支援事業等で案内に取り組んでまいります。

衛生費　・地域動物ボランティア

Q 地域猫ボランティアとの連携、協働を推進すべき

A 去勢不妊手術の補助や理解啓発に取り組み、まちの猫セミナー開催やボランティアのネットワーク化で、さらに動物愛護に取り組みます。

教育費　・AYA世代のがん教育推進について

Q 小、中学校のがん教育で、ワクチン予防の知見を広げるべき

A AYA世代はがんの早期発見・早期治療が重要でがん関連病院、医師会等と連携が非常に有効。先駆的な授業を他校にも周知してまいります。

教育費　・港区立麻布運動場に人工芝の敷設を

Q 港区立麻布運動場の野球グラウンドへ人工芝を敷設施工し冬季も使用可能とすべき

A 区立麻布運動場の野球グラウンド人工芝敷設については、令和２年度に実施設計、令和３年度に本設工事を計画しております。

共通実績（令和2年第1回定例会）

「3.3 新型コロナウイルス対策を緊急要望」

本年３月３日、港区議会公明党は、急拡大する新型コロナウイルスへの緊急対策を、武井港区長に12項目からなる要望書として提出。

その翌日４日より、要望書１番目の要望項目であった、新型コロナにより事業に多大な影響を受けた中小零細企業に対する、区独自の無利子500万円までの特別融資あっせんが開始されました！

また、区が備蓄している３５万枚のマスクなどを、特に感染した際に重症化の懸念がある高齢者や障がいのある子どもたちに接する職員への活用も要望し、５日障がいの子どもを預かる放課後等デイサービス、６日高齢者等の社会福祉施設に配布。

さらに、区職員のテレワーク、時差出勤の推進を要望し、２月末で終了予定のテレワークは3月末まで延長され、週２日→5日まで利用可能に！時差出勤は勤務時間帯が8区分から25区分に拡充されました。１１日からは、要望していた来庁者や施設利用者の不安解消するための窓口職員にマスク着用が義務付けされました。

一方、政府の要請により３月２日から港区立学校は一斉休校となりましたが、子どもを預かる体制確保のために教員の活用を要望し、同月９日～学校で教員が預かる「緊急児童居場所づくり」として実現！

このほか、病院に行かなくともＦＡＸのやり取りのみで薬局で処方薬が受け取れる旨の厚労省通知を区内薬局等に周知徹底してもらうなど、区民の方々から寄せられたお声を迅速に港区に届け、形にして参りました。

引き続き感染防止や生活支援に全力で取り組みます！

「子どもを交通事故から守るキッズ・ゾーンの設置などの安全対策が進みます！」

昨年5月、滋賀県大津市で保育園児が交通事故に巻き込まれるという痛ましい事故を受け、公明党議員団は直ちに武井港区長に園児らが活動する区域を知らせるキッズ･ゾーンの設置や移動の為の人員等の支援を求める緊急要望書を提出。

続いて、令和元年第2回定例会、本年第1回定例会代表質問や予算特別委員会において、子ども施設周辺で通行規制するキッズ･ゾーンの設置について質問。

その結果、キッズゾーンについては令和2年度に予算計上され総合支所ごとに1箇所ずつ設置、次年度順次拡大していく答弁を引き出しました！

また、次年度予算で、子どもが集団で移動する際の安全確保を確保するため、私立認可保育園に対し、園外活動時に見守り等を行う支援者配置に要する経費が補助されることに。

「保育料第２子以降の無料化の拡大が実現！」

これまで区の第2子の保育料は第1子が小学生以上の場合は適用されませんでしたが、経済的負担を軽減するため令和元年第2回定例会代表質問で、第2子以降の保育料の要件緩和を求め、第1子の年齢にかかわらず無償化に踏み切るべきと訴えました。

その結果、本年4月から第1子の年齢にかかわらず第2子の保育料の無償化が実現しました！

「2020年４月～宿泊型ショートステイ事業が始まります！」

平成25年３月予算特別委員会総括質問にて世田谷区の先進事例をあげ提案質問を行いました。

平成30年度からは産後の要支援母子のみを対象としたショートステイ事業が開始されましたが、さらなる拡充を平成30年第２回定例会のわが会派の代表質問や毎年の予算要望で求めてまいりました。

母親の不安が強くなりがちな産後４か月未満の母子を対象に、届出のみで、医師や助産師などにすぐに相談できる体制の中で宿泊できます（一日３万円を上限に利用料金の８割を区が負担、１泊２日は６万円）。

「2020年４月～がけ・擁壁改修工事支援事業を拡充します！」

平成23年10月の決算特別委員会総括質問にて改修工事などに対する補助制度の必要性を、また、区長に対する令和２年度予算要望では支援事業の拡充を訴えて参りました。

港区での土砂災害警戒区域211ヶ所、土砂災害特別警戒区域142ヵ所に対し、助成額の上限を5,000万円に引き上げ（助成割合1/2）、宗教法人、社会福祉法人等も対象に追加し、がけ・擁壁のアドバイザー派遣を新たに開始します。

「次世代通信システム 5Gでの区の取組みを推進」

この春からサービスが開始される第5世代通信システム「５Ｇ」は通信速度が現在の100倍、さらに低遅延で多接続が可能と、性能が飛躍的に向上し自動運転など社会の変革をもたらします。

港区議会公明党は、昨年11月の区長への予算要望や議会質問で５Ｇ推進を訴え、その結果、本年１月区は区有施設に複数の会社のアンテナをまとめる「基地局シェアリング」を国内初で行い、港区から5Ｇ環境をいち早く実現していきます。また高品質な画像での情報発信、申請や相談、災害時の情報入手強化など、さらに活用していきます。

「区営住宅に入居する際の連帯保証人が不要になりました！」

民法改正により、特に低所得の方が公営住宅入居に際して、連帯保証人を確保することが困難になることが想定されたため、国交省が公営住宅においてやむを得ない場合には連帯保証人を必要としないこと等の通知を発出。

そこで、平成３０年９月に連帯保証人規定の削除を提案し、本年４月から連帯保証人に代えて緊急連絡先の提出で足りることになりました！